

一般質問から

希望者全員の入所を保障する 学童保育所の整備について

Q 働く女性の増加および子どもの放課後保障の必要性などにより学童保育所への入所希望者が増えています。「入所を希望しても入所できない」と言った保護者の声も聞かれます。待機児童も出ています。学童保育所整備の現状と希望者全員入所を保障する市の取り組みと考えるについて伺います。

10番 池谷 正

A 本市では、駅周辺の開発に伴う人口の増加や、女性の社会進出による共働き世帯の増加等により、学童保育所の入所希望者数は年々増加しています。令和5年度は入所希望者807人でそのうち待機児童は49人、令和6年度は916人の希望者に対し入所決定は791人、保留が125人となっています。

待機児童への対策ですが、高まる学童保育ニーズに対応するため、新たに定員60人の民設民営学童保育所1か所を整備し、令和6年4月の開所を予定しており、学童保育の受け皿の確保に取り組んでいるところです。

若年がん患者ターミナルケア 在宅支援事業の実施について

Q 過去の私の質問に対し「介護保険制度の対象外である39歳までの若年がん患者が、住み慣れた自宅で治療しながら、家族と共に終末期を迎えられる体制を整備することは、がん対策を進める上で重要。今後、県の動向に注視しながら検討していきたい」とのことでした。

9番 矢澤 江美子

A 令和6年度県当初予算案に主要施策の一つとして「がん患者ウエルビーイング支援事業費（アピアランス助成事業とA Y A世代終末期在宅療養支援事業）」2093万9千円が計上されました。本市では令和6年度から市独自に「アピアランスケア用品購入費用助成事業」を予定していますが、県の助成により市の負担が軽減されることとなりました。終末期在宅療養支援事業についても県の後押しが得られたので早期の実施に向け検討していきます。

令和6年度埼玉県新規事業として「A Y A世代終末期在宅患者の在宅療養費用を助成する市町村を支援する費用」が計上されました。再度、八潮市での実施についてお聞きします。

市内の水路について

Q 蓋をして、歩道等として水路の維持管理と水路の蓋設置の進め方及び悪臭や虫の対策について伺います。

2番 小宮 弘子

A 蓋をして、歩道等として水路の維持管理は、市職員が対応し、対応できない場合は民間事業者などに依頼しています。段差については、床版そのものが変形等している場合は、交換などして対応しているが、歩道面の小さな段差の解消は難しいものと考えます。

悪臭や虫の発生などの対策については、土砂やヘドロの浚渫や水路構造物の改修をし、虫の発生を予防するために防疫薬剤の散布を実施しています。

水路への蓋掛けは、「水路上部の蓋掛けによる整備方針」を基に行っています。整備方針に



市内の水路

スポーツイベントについて

Q 市内一周駅伝大会の参加チーム数と成果について

18番 寺原 一行

A 今年度大会の参加チーム数は各部門合計で70チームでしたが、4年前は115チームでした。

中学生の参加チームが減っていますが、大会に参加するには教職員にかかる負担が少なくありません。教師の働き方改革など学校は様々な問題を抱えているので、それらを解決していくことが参加チームを増やすことにつながると思います。

今回の市内一周駅伝大会も、市民が駅伝に参加することも



市民の防災意識の更なる醸成について

Q 電柱に浸水深の表示がされました。防災意識の醸成にとっても有効と感じました。現在の計画は避難所ごとに4箇所、合計88箇所と伺っています。避難所が遠い場所への表示も必要と考えますが、市のお考えを伺います。

13番 鈴木 貞夫

に、想定浸水深ステッカーを作成し、配付・設置する予定です。設置場所は、公共施設、学校、防災行政無線屋外子局、金融機関、スーパー、コンビニなど、避難所からの距離によらず、市内約200箇所を予定しており、多くの市民の皆さまの目に触れる場所に貼ることで更なる啓発になるものと考えています。

A 想定浸水深表示板は、避難所1箇所につき、その周辺4箇所を設置を予定しています。令和5年度は、44箇所に設置し、令和6年度も、44箇所に設置を予定しています。ご質問の「避難所が遠い場所への表示」については、令和6年度

けやき通りの全線開通に向けた整備について

Q 土地区画整理事業の進展や柳之宮橋の架け替え工事の進捗に伴い、草加市境付近まで道路拡幅等の整備が行われています。

14番 金子 壮一

そこで、橋梁架け替えと道路整備の進捗について、伺います。柳之宮橋の架け替え工事の整備状況については、橋梁周辺の迂回路整備、仮橋設置が完了し、現在、旧橋の撤去工事を実施しており、今後は、新橋の橋台、上部工を施工する予定です。

A 市内を東西に横断する都市計画道路草加三郷線は、延長約4930m、幅員22m、4車線の道路として都市計画決定されており、柳之宮橋の架け替え工事と綾瀬川から草加市境付近までの約580mの道路整備を、埼玉県越谷県土整備事務所にて、施工しています。

綾瀬川から草加市境付近までの道路整備については、現在、既設水路の切り廻し工事や年度以降の作業に備えて迂回路の整備を行っており、今後、占用物件の移設・埋設工事、電線共同溝などを施工し、その後に、4車線化にするための街路整備工事を実施する予定です。

一般質問から

男女共同参画視点の 避難所運営について

Q 内閣府男女共同参画局の「第5次男女共同参画基本計画」は防災分野の女性委員の割合の目標を30%としてい

ます。本市の防災会議委員と危機管理防災課職員との女性割合、及び「第4次八潮市男女共同参画プラン」の防災分野の実施内容について伺います。

8番 前原 鮎美

A 防災会議の女性割合は31・6%、危機管理防災課の女性職員の割合は12・5%です。本市では、令和6年1月に庁内の女性職員で構成する「女性視点の避難所運営検討会」を立ち上げ、男女のニーズや考え

方の違いによる問題を解消できるように、女性視点で検討した事項を避難所開設・運営マニュアルに取り入れ、女性の感覚を意図した避難所運営が図られるよう環境整備に取り組んでいます。また、市民の皆様へは、出前講座や子育て広場等を活用して、女性視点に立った防災の重要性について啓発し、社会に散見される固定的な性別役割分担意識や、無意識の偏見(アンコンシヤス・バイアス)を解消できるよう、根気強く意識改善に努めていきたいと考えています。

防災について

Q 本年1月1日に令和6年能登半島地震が発生し現在も避難所での生活を余儀なくさ

れている方がいらつしやいます。本市で長期にわたる避難所生活を想定した訓練や準備の必要があるのではないのでしょうか。

15番 篠原 亮太

A 長期にわたる避難所生活を想定した訓練を実施するうえでは、日中や夜間、夏季や冬季など、避難する時期や時間帯を変更しながら訓練を実施することが、実際の災害時に臨機応変な判断と対応につながるものと考えています。避難所開

設・運営訓練を実施するために、災害想定やスケジュール、開設手順や訓練目標に合わせた参加者の役割など、様々な要素を適切に準備することが大切です。また、避難者が災害時に安全かつ効果的に行動するための訓練のプランを作成することも重要です。訓練を実施する際には自主防災組織を中心とした避難所単位での実施がより効果的と考えていることから自主防災組織と連携し協議していきたいと考えています。

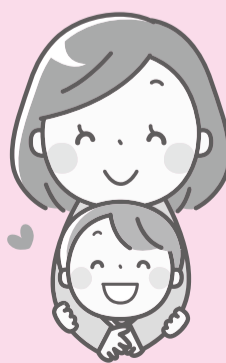
子どもの養育費について

Q 本市では、養育費をもらえていない方が何人いるのか把握しているようでしたらお聞かせください。

A ひとり親の養育費における正確な数値は把握していませんが、児童扶養手当の認定申請時や現況届の際に、養育費等に関する申告書を提出していただいています。

11番 川井 貴志

と、児童扶養手当受給者のみの参考数値となりますが、本年2月末現在の数値では、養育費を受け取っていないと想定される方は389人です。



職員名札の名字表記について

Q 職員の個人情報がインターネット上で検索されたり、市民からの不当な要求や行為「カスタマーハラスメント」対策の一環で、職員名札の表記をフルネーム表記から名字のみに切り替える動きが広まっています。本市でも名字のみに変更することについて伺います。

21番 朝田 和宏

A 他自治体において、職員の個人情報保護や多文化共生、性の多様性などの観点から、フルネームから名字のみに変更する動きが見られるほか、本市職員からも「フルネームから名字のみ」の名札などへの変

更に関する要望が寄せられています。こうした状況を踏まえ、本市においても、令和6年度から試行的運用という位置付けではありますが、現在、職員名札の表記見直しを検討しています。

保育環境の整備について

Q 私はこれまで待機児童が解消しない現状を踏まえ、潜在的な待機児童とも言われている特定保育園希望、入所保留児童も含め検討する必要があると指摘してきましたが、市は昨年、待機児童対策の方針転換をしてくれました。これから整備計画が進み、実際に特定保育園希望、入所保留児童が解消されていく見込みについて伺います。

12番 大泉 芳行

A 現時点の待機児童対策は、令和6年4月に小規模保育施設1か所(定員19人)の開設を予定しています。また、

令和7年4月を目途として、市内の私立幼稚園1園の認定こども園(保育部分定員90人)への移行に向けた準備を進めており、さらに、古新田保育所再整備にあたり、現在の定員60人から90人への増加を予定しています。これらの整備により、全ての特定保育園希望や入所保留児童が解消するのは難しいと考えていますが、減少方向には向かっているものと見込んでいます。今後、待機児童対策を進めていきたいと考えています。

新たな「わ」を創造する 新庁舎の有効活用

Q 多くの費用をかけて造った新庁舎です。より多くの市民の方に使いやすく、有効活用してもらう必要があります。そこでルーフバルコニーはどのように利用するかお聞きします。

6番 小倉 聖彦

A ルーフバルコニーの利用については、例えばサークル広場に面したバルコニーは、不特定多数の方が日常的に利用していただくことは想定しておらず、サークル広場のイベント時などでの利用のほか、各種点検・清掃時の作業スペースなどとしての利用を想定して

います。一方、庁舎4階の北西角にある「展望テラス」と称するバルコニーは、庁舎設計段階で日常的な利用を想定したものであるため、現在、庁舎開庁日の「午前9時30分から午後3時30分まで」一般の方々に開放しています。



は、令和6年4月に小規模保育施設1か所(定員19人)の開設を予定しています。また、

令和7年4月を目途として、市内の私立幼稚園1園の認定こども園(保育部分定員90人)への移行に向けた準備を進めており、さらに、古新田保育所再整備にあたり、現在の定員60人から90人への増加を予定しています。これらの整備により、全ての特定保育園希望や入所保留児童が解消するのは難しいと考えていますが、減少方向には向かっているものと見込んでいます。今後、待機児童対策を進めていきたいと考えています。



新庁舎北西側からの外観



意見書

定例会において、掲載の意見書を原案のとおり可決しました。なお、可決した意見書は、関係機関に送付しました。

若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書

近年、処方箋がなくても薬局やドラッグストアで購入できる市販薬の濫用や依存、それに伴う急性中毒が重大な社会問題となりつつあります。実際、市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)による救急搬送が2018年から2020年にかけて2.3倍に増加したという報告や、精神科医療施設を受診する患者において、市販薬を主とする薬物依存患者が、2012年から2020年にかけて約6倍に増加したという報告もあります。

国立精神・神経医療研究センターの2020年調査では、全国の精神科医療施設で薬物依存症の治療を受けた10代の患者の主な薬物に市販薬が全体の56.4%を占めており、さらには過去1年以内に市販薬の濫用経験がある高校生の割合は「60人に1人」と、深刻な状況にあることも明らかになっています。

不安や葛藤、憂鬱な気分を和らげたいなど、現実逃避や精神的苦痛の緩和のために、若者がオーバードーズに陥るケースが多く、実際、市販薬を過剰に摂取することで、疲労感や不快感が一時的に解消される場合があり、同じ効果を期待してより過剰な摂取を繰り返すことで、肝機能障害や重篤な意識障害、また呼吸不全などを引き起こしたり、中には心肺停止で死亡する事例も発生しています。

市販薬は違法薬物とは違い、所持することで罪にはならないことから、濫用が発見されにくいという現実があると同時に、オーバードーズによる健康被害は、違法薬物と並び深刻になる場合があります。よって政府においては、このような薬物依存による健康被害から一人でも多くの若者を守るために、下記について特段の取り組みを求めます。

記

1 現在、濫用等の恐れがある医薬品の6成分を含む市販薬を販売する際、購入者が子ども(高校生・中学生等)である場合は、その氏名や年齢、使用状況等を確認することになっているが、その際に副作用などの説明を行うことを必須とすること。

2 若者への薬剤の販売においては、その含有成分に応じて販売する容量を適切に制限すると同時に、対面かオンライン通話での販売を義務づけること。さらに副作用などの説明と合わせ、必要に応じて適切な相談窓口等を紹介できる体制を整えること。

3 濫用の恐れがある薬の指定を的確に進めると同時に、身分証による本人確認や繰り返し購入による過剰摂取を防止するため、販売記録等が確認できる環境の整備を検討すること。

4 若者のオーバードーズには、社会的孤立や生きづらさが背景にあるため、オーバードーズを孤立・孤立の問題として位置づけ、若者の居場所づくり等の施策を推進すること。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。令和6年3月19日 埼玉県八潮市議会

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 孤独・孤立対策担当大臣

政治資金パーティー券不記載問題の解明を求める意見書

今、国会では長年にわたり、政治資金パーティーの名で、パーティー券を売り捌き、政治資金報告書に記載せず、多額の資金を作っていたことが次々と明らかになり、大問題になっています。

政治資金規正法は、政治活動が国民の不断の監視のもとに行われるようにするため、政治資金の収支を公開し、公明公正な政治活動の確保、民主政治の健全な発展に寄与することを目的とし、国民に対し、政治活動の実態を明らかにすることを本旨としています。

今回の事態は、同法に抵触するものであり、政治に対する国民の信頼を著しく損ねるものと言わざるを得ません。国民は物価高騰の中、暮らしを守るために必死の努力をしているのに、国権の最高機関を構成する国会議員がこのようなことを行って来たことに国民の怒りが頂点に達しています。

誰がこのシステムを作り活用してきたのか、資金は何に使われてきたのか、全容解明なくして国民の政治と金にかかわる不信を解消することはできません。

よって、国におかれては、高まる国民の政治不信を払拭するために、現行の政治資金規正法の改正および不記載問題に関与した政治家全員の証人喚問を含め国民への説明責任を果たさせることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。令和6年3月19日 埼玉県八潮市議会

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣

AYA世代がん患者への支援を求める意見書

AYA世代(思春期・若年成人世代)のがん治療は長期にわたることも多く、治療が進学や就職、妊娠・出産など、人生の節目と重なるため、きめ細かい支援が必要である。

AYA世代ががん患者に対するがん治療を開始した場合、妊孕性が失われる可能性があると指摘されており、がん治療の前に、将来の妊娠に備えて卵子や精子等の生殖機能を温存する医療が注目され、埼玉県においても、AYA世代のがん患者を中心に治療前の生殖機能の温存に関する情報提供を行い、希望する患者には、卵巣等の採取・保存に係る費用を助成する取組を行っている。しかし、治療に伴う生殖機能等への影響など、世代に応じた問題について、医療従事者が患者に対して行う治療前の正確な情報提供は十分とはいえない。

また、情報不足やがん治療に加えて生殖機能を温存するための費用が掛かるなど、経済的負担が大きい。将来の妊娠に備えて卵子や精子等の生殖機能を温存する医療を受けられない患者があることから、国のがん対策推進基本計画では、希少がん、難治性がん、小児がん、緩和ケア、生殖機能温存、就学、就労についての対策など、AYA世代の治療・ケアに関する個別分野での取組が進められているが、包括的・継続的な情報・相談体制の提供が十分ではない。

さらに、AYA世代は、治療に伴うウィッグなどのピアランスケアや福祉用具等利用への支援、訪問介護などの介護保険制度で受けられるような在宅療養を支援する公的な助成制度がない状況であり、患者やその家族等の身体的・精神的・経済的負担の大きさが指摘されている。

よって国におかれては、AYA世代ががん患者に寄り添った支援を充実・強化するため、下記の事項に取り組みされるよう強く要望する。

- 1 AYA世代への包括的ケア・情報・相談体制を強化すること。
2 生殖機能を温存する医療に必要な費用の助成制度の経済的支援を充実すること。

記

1 AYA世代への包括的ケア・情報・相談体制を強化すること。
2 生殖機能を温存する医療に必要な費用の助成制度の経済的支援を充実すること。

3 ライフステージに応じた切れ目のない公的支援を拡充し、福祉用具等への助成や在宅療養における費用助成など、在宅療養支援を充実すること。

4 アピアランスケアへの財政措置を行うこと。
5 国民へのがんの知識を強化させること。
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。令和6年3月19日 埼玉県八潮市議会

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣

議案

議案第33号 八潮市教育委員会教育長の任命について
令和6年3月31日をもって任期満了となる八潮市教育委員会教育長に、井上 正人氏(いのうえ まさと、草加市)の任命について同意しました。

議案第34号 八潮市教育委員会委員の任命について
令和6年3月31日をもって任期満了となる八潮市教育委員会委員に、橋本 珠美氏(はしもと たまみ、大字大瀬)の任命について同意しました。

議案第35号 人権擁護委員の推薦について
令和6年6月30日をもって任期満了となる人権擁護委員に、会田 昭氏(あいた あきら、大字八條)を推薦することに同意しました。

委員会のうごき

総務文教常任委員会

委員会に付託された議案については、令和6年度八潮市一般会計予算などの分割付託4議案、その他4議案のあわせて8議案の審査を行いました。
議案の審査結果については、8議案すべて可決すべきものと決しました。

建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、令和6年度八潮市一般会計予算などの分割付託3議案、その他13議案のあわせて16議案の審査を行いました。
議案の審査結果については、16議案すべて可決すべきものと決しました。

福祉環境常任委員会

委員会に付託された議案については、専決処分承認を求めることについて(令和5年度八潮市一般会計補正予算(第10号))などの分割付託3議案、その他9議案のあわせて12議案の審査を行いました。

令和6年度八潮市一般会計予算については、意見として、「議案第13号令和6年度八潮市国民健康保険特別会計予算について反対の立場で討論します。」

国民健康保険はいつでも誰でも医療が受けられ、安心して暮らせる制度で、市内1万382世帯が加入しています。この保険制度を維持するために市民は多くの保険料を納めています。賃金の上昇が現在の物価高騰に

追いつかず、日々の暮らしも大変です。

このような中、八潮市の国民健康保険税は県下でも1、2を争う高額となっています。市民の暮らしに寄り添った国保運営が求められます。

以上、令和6年度八潮市国民健康保険特別会計予算についての討論とします。」との発言がありました。

さらに意見として、「議案第20号令和6年度八潮市後期高齢者医療特別会計予算について反対の立場で討論します。」

後期高齢者医療保険は、開始当初から、収入の限られた高齢者を切り離し、個別負担とする保険制度です。2年に1度行われる保険料の改定は、毎回上昇しています。昨年度から医療費の2割負担も実施されました。

また、令和6年度は、介護保険の改定により介護保険料の負担も増える見込みです。年金は、現在の物価高騰に見合った上昇もなく、負担ばかりが増えていきます。高齢になれば、誰もが体力が落ち、体の不調もでき

ます。このような状況での後期高齢者医療保険は、国が責任をもって抜本的見直しをすることが必要です。

以上、令和6年度八潮市後期高齢者医療特別会計予算の討論とします。」との発言がありました。

議案の審査結果については、12議案すべて可決すべきものと決しました。

公共施設整備等調査特別委員会

3月7日、第5回本委員会を開催し、「エイトアリーナへの増築施設基本設計(案)について」執行部より説明を受け、質疑等を行いました。

陳情

■対外的情報省と横田基地について意見書提出に関する陳情書
陳情者住所 愛知県安城市
陳情者 社会の歪を鋭く追及政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」代表 加藤 克助

議会本会議のライブ配信が始まります。

八潮市議会では、より開かれた議会を目指し、令和6年3月定例会から、インターネットによる本会議の録画配信を行います。

本会議とは、定例会及び臨時会の会期中に議場で開催される会議のことです。
なお、ライブ配信および録画配信は、八潮市議会の公式記録ではありません。公式記録については、5月下旬ホームページに掲載予定の会議録をご覧ください。



QRコードからアクセスできます!

令和6年第2回定例会(6月)の日程(案)

6月3日(月)	本会議 開会、開議、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、議案の上程及び提案理由の説明など
11日(火)	本会議 総括質疑(議案に対する質疑)、議案の委員会付託
12日(水)	総務文教常任委員会
13日(木)	建設水道常任委員会
14日(金)	福祉環境常任委員会
17日(月)	本会議(一般質問)
18日(火)	本会議(一般質問)
19日(水)	本会議(一般質問)
20日(木)	本会議 委員会報告、質疑、討論、採決など、閉会

※この定例会日程は予定ですので、変更する場合があります。

編集後記

議会報編集委員会から



「やしお市議会だより」を最後までお読みいただき、ありがとうございます。
1月1日に発災した「令和6年能登半島地震」、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。
1月4日開庁した新庁舎での初めての定例市議会。真新しい議場は、明るく厳格な雰囲気の中にも温かみの感じられる議場です。
又、今定例会より、インターネットによる録画配信も始まりました。6月の第2回定例会からは、ライブ配信も行われる予定です。お仕事等で、なかなか傍聴に来られない方にも市議会の様子を是非ご覧いただきたいと思っております。

(小宮弘子)

やしお市議会だよりメール配信のお知らせ

やしお市議会だよりの発行にあわせて、市の情報配信サービス「やしお840メール」を配信しています。

やしお840メールは、パソコンや携帯電話で受信できますが、利用するには登録が必要です。

市のホームページまたは左記のコードよりアクセスしてご登録ください。

空メール画面になるので、何か一文字入れて送信してください。



議会報編集委員会

- (委員長) 鈴木 貞夫
- (副委員長) 荒川 貴洋
- (委員) 内田亜希子
- 小宮 弘子
- 大島 愛音
- 前原 鮎美
- 福野未知留
- 前田 貞子